



発行
名工大生命・物質工学科
生体材料プログラム内
双友会
TEL (052) 735-5264

ホームページ
<http://soyukai.web.nitech.ac.jp>

編集
双友会だより編集部
発行所
名古屋市昭和区御器所町
名古屋工業大学
生命・物質工学科内

ご挨拶

平成 27 年 9 月吉日
双友会会長 森川民雄 (W45)



森川民雄 (W45)

昭和 2 年 11 月 14 日は何の日であったか、ご存知ですか？

そう、殆どの方はご存じないのです。この日は、昭和天皇陛下が、我が母校の『名古屋高等工業学校』へ行幸された日です。今迄に、天皇陛下にお越し頂いた事が有るとは全然知りませんでした。先日、有る所の古書店で、ゴキソ（現在は、ごきそ）を入手する事ができました。筆者は、現在『ごきそ』の編集長も担当させて頂いて関心がありました。手に入った内容は、大正 14 年 12 月発行の第 20 号と大正 15 年 12 月発行の第 21 号と昭和 2 年発行の第 22 号の No. 2～4 と第 23 号の No. 1 の合計 6 冊でした。第 20 号と第 21 号は B5 サイズの大きさで 160 頁位あり、年 1 回の発行の様です。昭和 2 年からは、A4 サイズになり、30～50 頁で、年 4 回発行していた様です。その中で、昭和 2 年 12 月 24 日発行が『行幸記念号』であり、詳しく書いて有りました。また、発行者は名高工校友会文芸部であり、今の名古屋工業会では有りませんでした。

同じ時に、『創立 25 周年記念誌』（昭和 6 年 12 月 20 日発行）も手に入りました。これは A4 サイズで 426 頁ありますが、その内 308 頁は卒業者の個人名と勤務概況です。その中で、機織科は明治 41 年卒業 10 名から始まり、大正 3 年の卒業からは紡織科と変わっています。載っている最後は昭和 5 年卒業生まで、全 445 名です。発行所は名古屋高等工業学校校友会と名古屋工業会です。

話は変わって、今の学生さんはどうかと先生方にお聞きするとあまり変わっていない様ですと、教えて頂きました。夏休みが、変わって、筆者が学生時代は、7 月 11 日～9 月 10 日が夏休みであったのが、今は 8 月 1 日～9 月 30 日が夏休みで、前期の試験を済ませて、休みに入る事となり、7 月中は試験や追試で、毎日暑い中、更に熱くなって過ごしているようです。また、今年から大手の会社の就職試験の開始が 8 月 1 日からとなり、4 年生と院の 2 年生は本当に暑い夏を迎える事となり、ご苦労様と言う他は有りません。

最後に、今年の 11 月 20 日（金）は双友会総会（午後 5 時～）・懇親会（午後 6 時～）を開催し、翌 21 日は名工大主催の『ホームカミングデー』が開催されます。OB・OG の皆様には是非、両日ご参加頂き、今の大学がどのように変化しているかを、ご自身の目でご確認頂けると良いかと希望します。

平成 26 年度 双友会総会懇親会

双友会は、平成 26 年 11 月 7 日（金）に名古屋工業大学学生会館において総会・懇親会を開催しました。総会（参加者 13 名）において、提出された 25 年度の事業報告・会計報告、26 年度の事業予定・会計予算案について審議のうえ、満場一致で承認され、すべての議事を滞りなく終了し閉会いたしました。

総会後の懇親会は、毎年恒例になっている新入会員歓迎会と併せて開催いたしました。今回も OB 13 名をはじめ、多くの方々にご参加いただき、総勢 71 名で開催することができました。新幹事長の吉木 満氏 (W56) の司会進行のもと、会長の森川民雄氏 (W45) よりご挨拶をいただき、続いて、生命・物質工学科生体材料プログラム長の猪股克弘教授からプログラムの近況、そして新学長就任、平成 28 年度からの大学教育改革の内容について紹介がありました。その後、杉浦潔彦氏 (W34) の「やりたい事はドンとやる」との激励の挨拶を頂き、そのまま乾杯のご発声で歓談に入りました。会場では、新入会員の 4 年生が諸先輩と意見を交わし、今後の生き方、就職についての情報収集を行うなど終始楽しく過ごしました。最後は元会長である西尾弘之氏 (W37) より新入会員へアドバイスを述べられ、閉幕いたしました。



平成26年度 双友会懇親会の写真 © 大学会館

～会員寄稿～

双友会関西支部 徳島1泊ツアー《報告》

— クラボウ徳島工場見学とゴルフ・観光 —

五月晴れに恵まれた平成27年5月20日、双友会関西支部行事としてクラボウ徳島工場（染色加工）の見学会を行なった。

クラボウ徳島工場は徳島県阿南市の辰巳工業団地に敷地を購入し、染色工場として20年前に新設したそうです。我等が母校も時代とともに学科内容も変化し、W卒業生が主に活躍した繊維関連ビジネスも中核が大きく変化している状況から、染色工場の見学というより、翌日のゴルフあるいは観光に曳かれて参加したのが本音ではなかったか？

しかし、いざ見学が始まると参加者全員が若き日にタイムスリップし、血沸き肉躍り、3時間を越える見学と熱弁でも収まらず、懇親会も延々と3時間…工場幹部のフルアテンドと誠意に感謝感激。参加者は長老W31高村さんから最年少W46山本（芳）さんまでの12名でした。

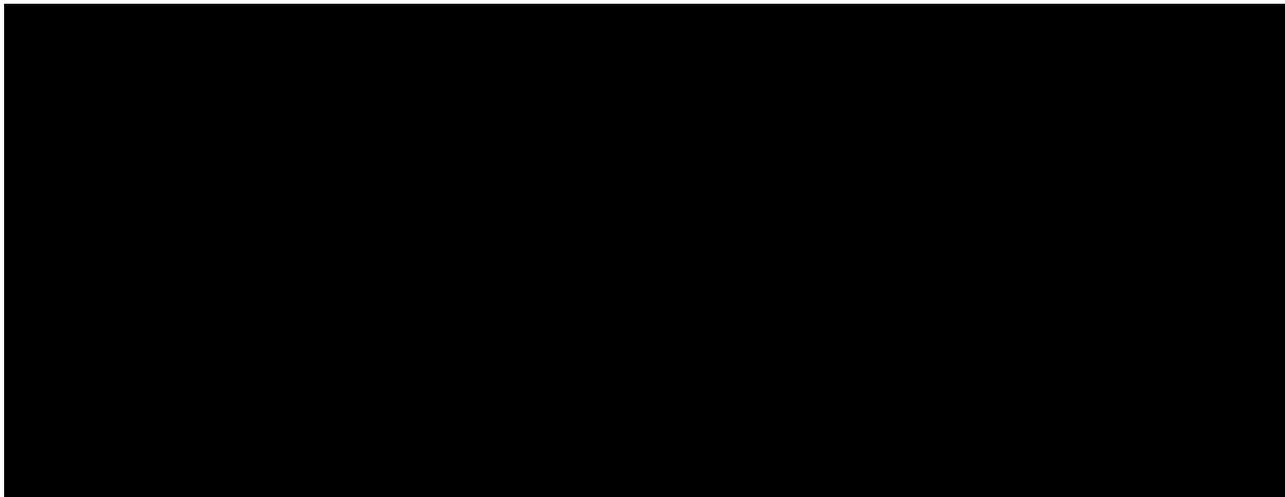
クラボウさんが繊維の物作りの基盤・軸足を日本に置き、グローバルに展開するに留まらず、自社製の生産関連ソフト・公害対応環境設備を備え、繊維の領域を超えてバイオマス発電所も建設中で、進化し続ける鼓動を感じた。

また、この団地には世界的に有名な日亜化学、王子製紙の最新工場など超優良企業が集まり、競い合い成長する息吹に満ちている。

翌日、雲ひとつ無い快晴のもと、ゴルフ組は鳴門CC、観光組は眉山、阿波踊り会館、阿波の十郎兵衛屋敷、大塚国際美術館、鳴門の渦観潮…十分過ぎる満足を得て帰阪した。

クラボウさん、工場の皆さんのあたたかいご協力に感謝いたします。

【記：W42 長江正純】



～会員寄稿～

W40 卒業 50 周年記念クラス会 開催

W40 卒業のクラス会はさる平成 27 年 3 月 28 日、50 周年を記念して本学校友会館内【サラ】で開催しました。

東は茨城県鹿島、西は岡山と総勢 21 名の多くの旧友が全国から集い盛大に行うことができました。幸いにして快晴に恵まれ、久しぶりに学校にきた皆様は大幅に変わった校舎を散策したり、校友会館資料館を見学したりし、懐かしい思い出話の材料となりました。

会の始まり、亡くなった 6 名の方々に哀悼の意を唱え、その後参加者全員の近況報告で盛り上がり旧交を深めることができました。この中で 70 歳を超え、さらに現役を続け、活躍している方が 6 名あり驚きです。

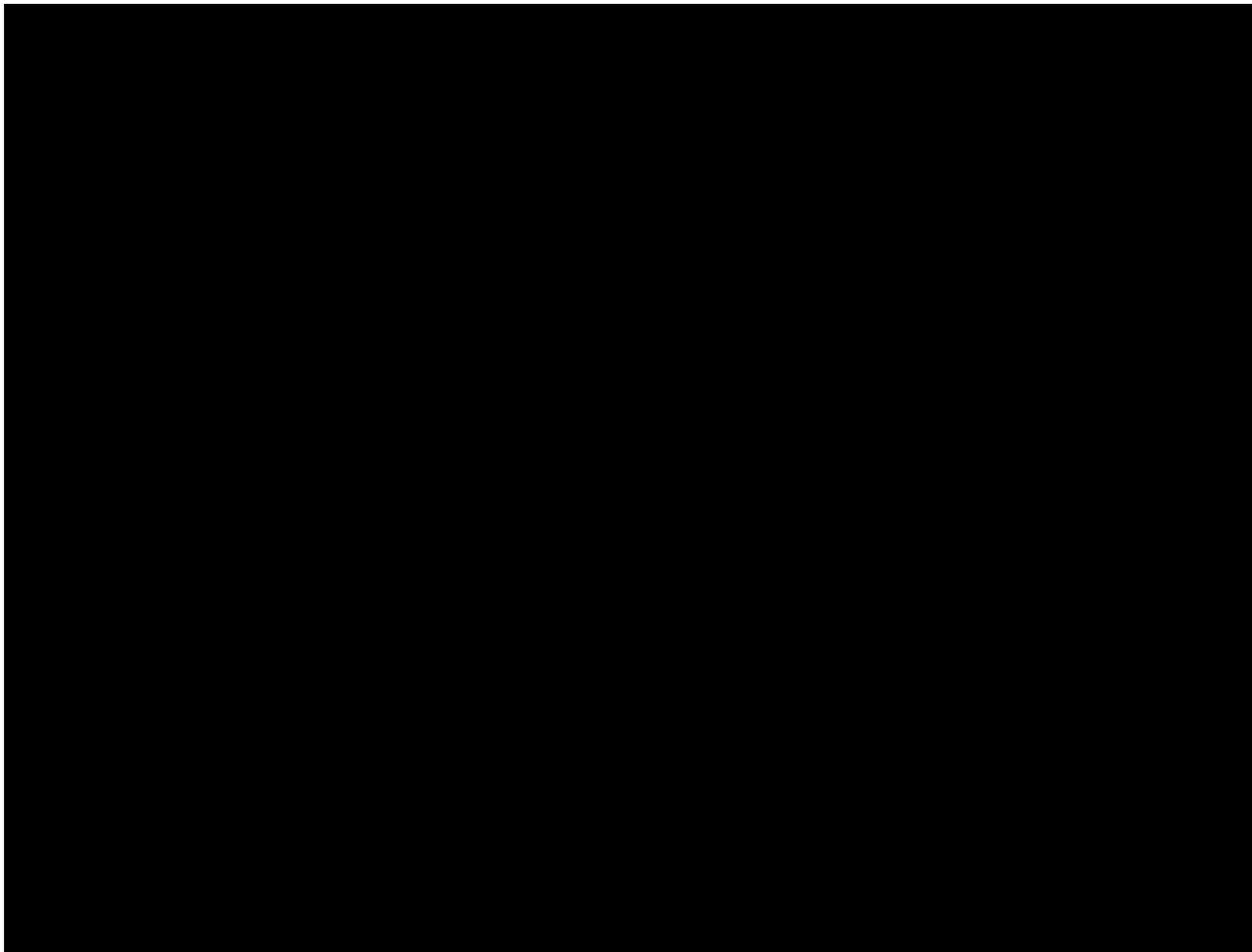
終わりに正門の前で記念写真を撮り一次会解散し、二次会は鶴舞公園の萩の茶屋で春爛漫の中でお花見をしながら、名古屋名物味噌おでんを食べながら再び杯を交わし、再会を約し帰路につきました。

注) 写真：名工大正門前

【記：幹事 沼田長之】

**OB 講演会****私の経歴…失敗と成功？**

平成 26 年 11 月 7 日の平成 26 年度双友会総会懇親会に先立ち、山本宏明氏（左写真：アド株式会社 W55）にご講演いただいた。山本氏は、1980 年に繊維高分子工学科卒業後、自動車部品企業に入社され、自動車用樹脂製品の設計・開発・製造部門に携わってこられた。新入会員になる 4 年生、双友会々員の院生に向けて、米国海外勤務 20 年間の経験から「学んだ事、失敗した事、成功した事」として、国民性の違い（日本人と米国人）やエンジニアとしての心構え等について、冗談を交えながら非常に参考になるお話をいただいた。 【記 永田謙二】



～会員寄稿～

『双友会東京支部懇親会に参加して』(2015年6月13日)

6月13日(土)、双友会東京支部(東京双友会)の懇親会が開催されました。会場は銀座・有楽町の遊歩道の賑わいを臨むビルの7階にあり、ルネサンス風の「クルーズ クルーズ THE GINZA」という非常に落ち着いた雰囲気のあるお店の一室でした。今回は名古屋より双友会の森川会長にご出席頂き、参加者は昭和23年卒から56年卒までの総勢17名となりました。懇親会は、森川会長のご挨拶から始まり、山田氏の乾杯の音頭、印藤東京支部長のご挨拶、平成28年度に予定されています学科改組報告、記念撮影、参加者近況報告という流れで進められました。

歓談では伊勢湾台風でボランティア活動に参加した話題や、近況報告では定年後も衛星測位システム協議会の事務局でご活躍されたお話など、非常に興味深いお話を多く伺うことができました。帰りには記念写真とお土産も頂きました。

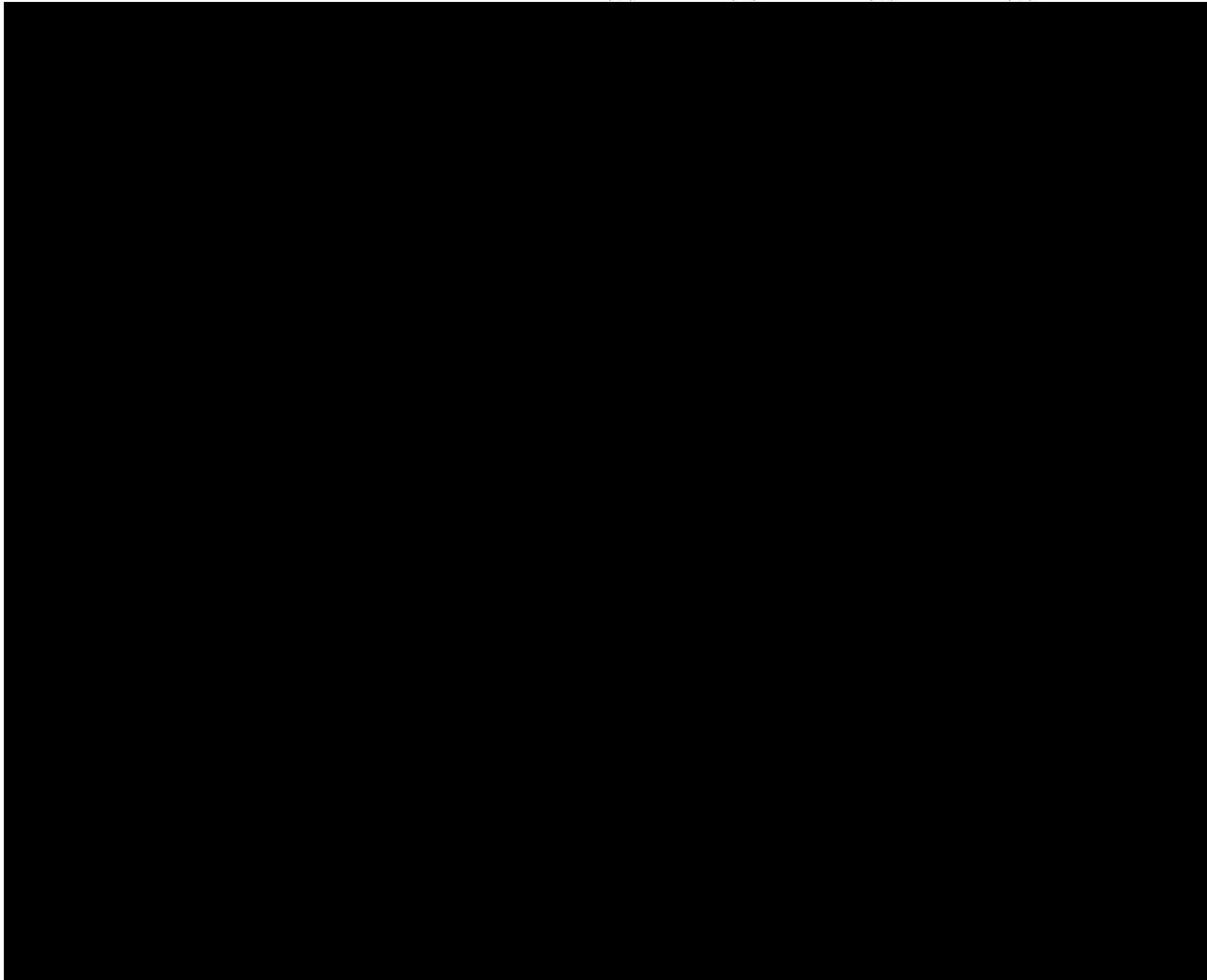
さて、今回は森川会長にご出席頂きましたが、これからも本部と大阪支部、更には各支部の方々に多数ご参加頂き、世代や地域を超えての連携を織り成す『双友会』であることを期待致します。

【記：W56卒 波多野 靖】

第22回 双友会東京支部懇親会 2015.06.13 (Sat.)



森川民雄会長 (45) 小谷一郎 (55) 佐藤誠 (33) 與語達也 (36) 印藤崎 (43) 谷口庄平 (42) 波多野靖 (56) 鷲見武彦 (40) 早川吉郎 (23) 富田禎三 (33) 倉島俊二 (38) 細井勉 (37) 高瀬達也 (38) 飯田秀郎 (33) 山田貴 (23) 西口浩 (37) 森川勲 (34) 西口夫人



平成 26 年度研究助成報告

双友会では、大学院や学部在学中に学会（各種学術団体などが開催する研究成果発表会）にて研究発表を行った者に対し、「研究助成金」（一回一万円で年一回まで。ただし東海三県を除く）を贈呈しています。平成 26 年度は下記に示した 34 件の学会発表に対し研究助成金を贈呈しました。会員の皆様に謹んで御礼申し上げます。

5 月	NMR 研究会（東京）1 名	10 月	光化学討論会（札幌）1 名
5 月	第 63 回高分子年次大会（名古屋）2 名	10 月	第 4 回 CJS サイエンスフェスタ（東京）1 名
7 月	Macro（IUPAC）（タイ）1 名	11 月	第 2 回有機触媒シンポ（東京）2 名
7 月	第 60 回高分子研究発表会（神戸）2 名	12 月	第 24 回日本 MRS 年次大会（横浜）1 名
9 月	Polycondensation2014（東京）1 名	3 月	日本化学会第 95 回春季大会（千葉）1 名
9 月	第 63 回高分子討論会（長崎）21 名		

～謝 辞～

研究に取り組む上で、他者の意見や議論を聞くことは、非常に重要なことだと私は思っています。研究を一人で行っていくのには、限界があります。他者と意見交換を積極的に行い、その意見を吸収することで、より柔軟な発想力が生まれ、研究の進展に繋がっていくと考えています。

そこで、学会への参加は、それを達成することができる絶好の機会です。学会は、他者の研究内容を拝見する場であると同時に、自分の研究成果を他者に発表する場でもあります。実際、私も何度か学会に参加させて頂きました。学会という場で、発表したり、聞いたりすることで、より多くの人の意見や議論を聞くことができ、私にとって非常に良い経験になりました。

しかし、多くの学会は、東海地方以外で行われるため、参加費や交通費の問題から参加が制限されてしまうことがあります。そのような中、双友会の先輩方からのご支援のおかげで、多くの学会に参加することができ、研究の進展、そして自分の能力の向上に繋がりました。心より感謝申し上げます。今後も、先輩方や、協力して頂いている周りの方への感謝の気持ちを忘れずに、より一層研究に励んでいきたいと思っております。

物質工学専攻 博士前期課程 2 年 佐藤秀俊（中西研究室）

平成 26 年度卒業生進路

平成 26 年度の卒業生の就職先を紹介します。(敬称略)

大学院：アイカ工業(株)、アイシン精機(株) 2 名、曙ブレーキ工業(株)、(株)生方製作所、NTN(株)、(株)クラレ、(株)小糸製作所 2 名、小島プレス工業(株)、(株)ジェイテクト、スズキ(株)、住化カラー(株)、住友電装(株)、住友精化(株)、タイガースポリマー(株)、大日本印刷(株)、大豊工業(株)、東亜合成(株)、(株)東芝、東レ(株)、トヨタ自動車(株)、豊田鉄工(株)、トヨタ紡織(株)、長瀬産業(株)、ナトコ(株)、日油(株)、日本車輛製造(株)、(株)ノリタケカンパニーリミテド、林テレンプ(株)、フタムラ化学(株) 2 名、ブラザー工業(株)、本田技研工業(株)、(株)メニコン、三菱自動車工業(株)、三ツ星ベルト(株)、豊精密工業(株)、ユニ・チャーム(株)、和信化学工業(株)

学部：(株)アイヴィス、北川工業(株)、(株)きもと、東和耐火工業(株)、(株)トヨタマップマスター、名古屋製酪(株)、(株)ニフコ、江南市役所

大学院進学：本学 (36 名)、他大学 (京都大、東京医科歯科大)

平成 26 年度寄付者

双友会の運営の為に、ご寄付をお寄せいただき、心から感謝致します。感謝の意を込めまして、ご芳名をここに掲載させていただきます。(順不同、敬称略)

米沢 敦 (W20)、魚住養正 (W22)、五十住弘二 (W23)、竹村 皎 (W29)、飯田秀郎 (W33)

杉浦潔彦 (W34)、西尾弘之 (W37)、長島 徹 (W40)、印藤 嶺 (W43)、森川民雄 (W45)

朝倉睦美 (W54)、豊永茂弘 (W59)、平塚朗世 (H10)、井上慎一郎 (H11)

広告募集

詳細は双友会本部事務局 (裏表紙) まで

会費納入・寄附のお願い

双友会の運営は会員諸兄姉の年会費（2,000 円）にかかっています。

昨今は赤字傾向であり、このうちの大半は年会費の減収分であります。このままでは数年後には財源が枯渇してしまいかねない深刻な状況です。本双友会の円滑な運営の為にどうか会費を納めてくださるよう、会員諸兄姉のご理解とご協力をお願いします。なお、寄附の申し込みを受け付けています（一口 5,000 円から）。会誌またはホームページでご芳名を掲載させていただきます。

個人年会費などのご納入は、①銀行振込、または②郵便振込でお願いします。

個人会費（2,000 円）、終身会費（30,000 円）を以下の①あるいは②の方法でご送金をお願いします。

- ① 銀行振込の場合：下の口座（双友会会費用）に振り込んでください。
三井住友銀行・上前津支店・普通口座
（店番号）482（口座番号）6309868（登録名）双友会
- ② 郵便振込の場合：同封の振込用紙（会費納入と兼用）をご利用ください。

終身会員制度のご案内

終身会員として 30,000 円を納入されますと以後の会費は免除される制度です。

平成 27 年 3 月までに終身会員（180 名）の方は次の通りです。（敬称略）

学年別終身会員数（W:昭和卒、Wh:平成卒、括弧内は人数） W12(1)、W13(2)、W25(1)、W26(1)、W28(2)、W29(5)、W30(1)、W31(4)、W32(4)、W33(6)、W34(9)、W35(5)、W37(8)、W38(5)、W39(8)、W40(10)、W41(3)、W42(3)、W43(2)、W44(2)、W45(7)、W46(4)、W47(2)、W48(5)、W51(7)、W52(2)、W53(1)、W54(2)、W55(6)、W56(4)、W57(2)、W58(3)、W59(1)、W60(1)、W61(1)、W62(2)、W63(1)、Wh1(3)、Wh2(3)、Wh3(4)、Wh4(2)、Wh5(5)、Wh6(2)、Wh7(2)、Wh8(1)、Wh10(5)、Wh11(1)、Wh12(3)、Wh13(5)、Wh14(1)、Wh16(2)、Wh18(2)、Wh19(1)、Wh21(1)、Wh22(1)、Wh24(1)

終身会員 田中鉄三郎、加藤武、山口武雄、富田義晴、猪飼精、今枝勉、鈴木健治、太田鑑吾、柏木鉄雄、鈴木重夫、竹村皎、長谷川準三、安藤保、木村常男、須加井喬、松岡八郎、鷺田一雄、井田武彦、今井博、玉田欽也、瀧澤直人、伊藤晃、片岡忠明、川口文夫、日比宣夫、福田竺、宮本浩二、奥村巳善、兼松勇夫、下山幸重、杉浦潔彦、長崎義一、丸地孝男、宮崎幹士、箕浦静、森川勲、氏原義文、酒井麓郎、山口儀康、横地邦廣、蜂須賀辰雄、青山實、赤塚正明、伊藤周雄、芝崎暢彦、西尾弘之、西川尚武、堀紀久雄、水谷忠正、井塚淑夫、高橋信行、中村勤、丹羽信男、長谷川隆男、牧紀久夫、伊藤弘、神谷昇、桑原宏吉、柴田富造、城山義見、高橋英生、高橋正清、浜島徳充、市橋洋志、今井啓裕、北村公英、後藤共子、近藤高可、谷憲治、田村広志、恒川昭夫、長島徹、西川宣昭、永坂友康、森井敏彦、西澤郁朗、酒井敏彦、椿泰広、長江正純、印藤嶠、奥山晋三、牧野昭二、泉地正章、伊藤哲夫、小坂寧、加藤喬士、児玉孝次、谷岡明彦、水野和博、森川民雄、齊藤秀夫、所義勝、山中一、山本恒男、森田健次、今井貞幸、浅井幹夫、稲波弘明、佐藤紀夫、白木雅雄、棚瀬裕明、亀岡直樹、三宅宣幸、足立哲士、采誠次、矢部敏之、磯本恒之、加納章、朝倉睦美、柵木和正、廣田英幸、嵯峨久直、小谷一郎、三上鉄也、水野喜仁、伊藤聰、立川満、玉置達夫、榊原啓介、松村秀司、山田基美子、吉木満、荒川みはる、花井陽一、伊藤健一郎、杉村貴代、鈴木司朗、木村敦志、松野一郎、牧野博文、小野晃、山本武志、山本哲也、永田寛知、高木登、武居正和、青木知明、片岡真理、小塚佳明、植手貴夫、大谷誠一郎、濱口尚久、松田淳二、安田正弘、鹿糠悟、佐藤嘉洋、高木幸治、冬頭美乃、光橋裕之、鈴木晃、林修二郎、山本勝宏、木野喜隆、長坂直紀、土井智清、佐藤佳治、岡恭子、原滋郎、井上慎一郎、黒川裕司、大室幸絵、藤川誠二、中村賢一、辻隆幸、水口良、小森久敏、杉野裕介、竹内孝行、中井祐介、藤澤佳右、堀部峰雄、森下豪人、久保田篤優、伴亜瑛美、角谷信裕、坂本悠、杉浦宜匡、山門陵平、林拓希、秋濱秀宜

記載漏れがございましたら事務局までご連絡下さい。

平成27年度『双友会総会・懇親会』のご案内

今年度の「双友会総会・懇親会」を下記の要領にて開催いたします。万障お繰り合わせのうえ、ご参加ください。ご案内申し上げます。参加希望の方は、枠内必要事項明記の上、FAX：052-735-5270、E-mail：sugimoto.hideki@nitech.ac.jp、または郵送で双友会本部事務局（杉本英樹）までご連絡願います。

会 場 総会、懇親会・名古屋工業大学 大学会館（生協）
 日 時 平成27年11月20日（金）
 17：00～17：50 総 会（生協1階 大食堂）
 18：00～19：30 懇親会（生協1回 大食堂）
 会 費 5,000円（当日徴収）

平成27年度 双友会総会、懇親会 参加申込書

総会 参加 ・ 不参加 / 懇親会 参加 ・ 不参加

ご氏名： _____ ご卒業年度： _____

ご住所： 〒 _____

TEL： _____ FAX： _____

E-mail： _____

法人でご参加の方は下記にもご記入お願いいたします。

貴社名（部署名）： _____

ご住所： 〒 _____

TEL： _____

連 絡 先

- ◇ 本 部
 - 会 長：森川民雄（W45） _____
 - 幹事長：吉木 満（W56） _____
- ◇ 関西支部（大阪支部より名称変更）
 - 支部長：長江正純（W42） _____
 - 幹事長：小山征治（W42） _____
- ◇ 東京支部
 - 支部長：印藤 嶺（W43） _____
 - 幹事長：波多野靖（W56） _____
- ◇ 東海支部
 - 支部長：泉地正章（W44） _____
 - 幹事長：吉木 満（W56） _____
- ◇ 双友会本部事務局
 - 〒 466-8555 名古屋市昭和区御器所町
 - 名古屋工業大学 生命・物質工学科 生体材料プログラム
 - ☎ 052-735-5264（高木幸治 Wh5） 052-735-5277（山本勝宏 Wh6） 052-735-5270（杉本英樹 Wh6）
- ◇ 教員連絡先は生命・物質工学科 HP をご覧ください <http://www.lme.nitech.ac.jp/staff/staff-seitai.html>

事 務 局 だ よ り

- ◎ 住所等の誤り、変更がございましたら双友会本部事務局までご連絡ください。
- ◎ 会員のご名譽・各受賞に関し、ご存じでしたら事務局までご一報ください。
- ◎ 双友会だよりの寄稿文を募集しておりますので、事務局までご送付ください。
- ◎ 名古屋工業会では会員の増強を行っております。工業会に未加入の方はこの機会に是非ご加入頂きますようお願い申し上げます。